

大石地区の人口・世帯数

(令和5年6月1日現在)		前号比
世帯数	1,402戸	7
人口	4,025人	6
男	1,989人	8
女	2,036人	-2



まち協HPIはこちらから

# おおいしだより



発行 大石地区まちづくり協議会・大石コミュニティセンター  
編集 広報紙編集委員会

坂井市春江町上小森6-12 TEL/FAX(0776)72-0002  
まち協4F 2階 http://www4.fctv.ne.jp/~ohishimk/  
大石コミュニティセンター7F ohishi-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

## 大石歴史探訪⑨

### 「坪田十左エ門」顕彰碑（大石小学校前）

昭和四十四年二月、大石村最後の村長を務めた坪田十左エ門氏が逝去した。当時、春江町長であった三寺利兵衛氏の発案により顕彰碑を建立することになった。早速建設委員会が設立され、旧北部公民館（元大石支所）東側にあった田んぼを埋め立てて、同年十一月に顕彰碑が建てられた。中央の顕彰碑の題字は、大蔵大臣を務めた植木庚子郎、左側の歌碑の短歌は歌人でもあった熊谷太三郎両国会議員によるものである。右側の頌文（ほめたたえる文）は、建設委員会会長の三上伝兵衛氏（大牧）の手による。この頌文によると、彼は、温厚篤実な人柄で、池田村に生まれ、平井要と称した。福井師範学校を卒業し国立蔵前高等学校（東京工業大学の前身）に進み、その後米國カリフォルニア大学に学んだ。帰国後、坪田家に迎えられ、坪田家を継いだ。県議会議員、大石村長、農業協同組合長、県教育委員などを歴任、春江北部土地改良区の創設に尽力した。

また、彼の功績は熊谷太三郎氏の歌からも伺い知ることができる。

### 九頭竜の憂をともしせし君の過ぎしをとほにかなしむ

顕彰碑の除幕式には、植木・熊谷両議員も出席、盛大に執り行われた。建設委員会の名誉会長であった三寺利兵衛氏の入脈の広さを物語るものでもあった。

建設に携わった方々が故人となる中、唯一石塚の黒川忠志さんが生存されていたが、先年亡くなった。忠志さんの遺志を引き継ぎ、現在「坪田十左エ門」顕彰碑を守る会が顕彰碑関係の管理及び清掃活動を行っている。（芳）



顕彰碑除幕式であいさつする故三寺町長

【お詫び】 3月上旬に発行した「みんなでふせごう 交通事故」の中で、大石地区において「AED」が設置されている場所として、「③(有)塩澤工業福井工場 大牧」と記載しましたが、工場はなくなっていますので、削除し、お詫びいたします。

## 大石コミセンだより

6/10 (土)

春江町内コミセン共催講座  
協力：青少年育成坂井市民会議大石支部  
**地引網体験&クリーンアップ作戦**

春江町内の小学生54名があつまり、浜地の海で地引網体験をしました。重い綱を引いてたくさんの魚が獲れました。松島水族館の方の説明を、みんな真剣に聞いていました。体験後は浜辺のゴミを拾って帰りました。



5/27(土)  
6/17(土)

放課後子ども教室事業  
**大石アトリエ工房**



全6回のコースに14名の応募がありました。1回目はプラ板工作、2回目はキャンパスアートに挑戦。どちらも思い思いの作品を仕上げることができました。キャンパスアートは、大石ふれあいまつりにも展示しました。



コミュニティセンター講座  
**リラックス☆ヨガ体操** 5月～3月まで全20回 開催中

好評につき、定員に達しております



ハートピア春江に設置されたプランター



大石小学校



西長田駅



大石駐在所

今年も花・環境部会が中心となりユリプランターを作成し、坂井市役所春江支所、大石コミセン、春江北幼保園など、春江町内の主要施設に配置しました。各施設では満開のユリの花を咲かせ、来訪者の目を楽しませ心を潤わせていました。

## 通常総会



通常総会を4年ぶりに4月26日(水)午後7時30分から大石コミュニティセンターで、渡辺竜彦県会議員等を来賓として迎え開催しました。議案第1号「令和4年度事業報告」、議案第2号「令和4年度収支決算報告」、議案第3号「令和5年度事業計画(案)」、議案第4号「令和5年度収支予算(案)」が、原案どおり承認されました。

総会で示した大石地区将来ビジョンの内容(ホームページ参照)に基づいて、できることから具体的な方策を立てて取り組んでいきたいと考えています。

### ◆予算

#### 収入の部

科 目	予算額 (円)
市交付金	3,325,500
自己資金	90,462
前年度繰越金	694,038
合 計	4,110,000

#### 支出の部

科 目	予算額 (円)
部会活動費	2,085,000
花・環境部会	809,000
教育・文化部会	248,000
健康・福祉部会	306,000
安心・安全部会	153,000
総務・広報部会	569,000
区長会活動事業	30,000
大石地区環境推進事業	30,000
ふれあいまつり事業	400,000
敬老に関する事業	1,050,000
将来ビジョン作成事業	30,000
コウノトリ関連事業	185,000
事務費	150,000
予備費	150,000
合 計	4,110,000

### ◆事業計画

花・環境部会	教育・文化部会
花いっぱい運動事業	親子で木工教室
環境美化活動事業	歴史探訪
U17ランナー関連事業等	門松づくり
健康・福祉部会	放課後子ども教室共催等
健康づくり推進事業	安心・安全部会
元気づくり推進事業等	大石地区人口減少考察
総務・広報部会	防火・防災フェスタ
地域づくり事業	交通安全早朝街頭啓発
広報事業	防犯に関する講習会等
研修事業等	



### ◆センター前の池清掃

総務・広報部会 5/27(土)



今年も総務・広報部会委員で、池の清掃を行いました。ひ鯉が卵を産んでふ化し、子どものひ鯉が流れ出してしまう恐れがあったので、水位を下げずに行いました。そのため、デッキブラシでの作業は、やりにくく、はかどらないので急ぎよ高圧洗浄機を使って壁面の汚れを落としました。また、水路や排水路の泥上げ、草刈りも同時に行いました。

### ◆交通安全早朝街頭啓発活動

安心・安全部会 5/11(木)

本年度より、安心・安全部会が中心となって、まち協全体として交通安全協会などが行っている交通安全早朝街頭啓発活動に参加することといたしました。春の啓発活動は、午前7時10分から行われ、芦原街道西長田信号交差点など区内主要交差点にまち協委員も立ち、交通事故の抑止や飲酒運転の撲滅を呼びかけました。



### ◆銅鐸説明板設置

総務・広報部会 3/29(水)



慶應4年(1868年)2月16日、井向村の岡部直富の畔(くろ)と呼ばれる畑から大小2個の銅鐸が出土しました。この時代の日本は、1月3日から始まった鳥羽・伏見の戦いで勝利した薩長軍が、官軍として江戸城総攻撃を目ろみ、着々と準備を進めており、風雲急を告げる頃でした。

昭和59年4月春江町は出土した所から100m西の大牧地籍にこの記念碑を建立しました。記念碑の裏面には、大石銅鐸が3個出土したとの記述があります。岡部文書では大小2個出土したとあるのに、なぜ突然3個説が出てきたのか、そのいきさつを明らかにしておくとともに、後世の人たちに史実を伝えるため説明板を設置することにしました。

### ◆花壇の手入れと種まき

花・環境部会 5/7(日)



ユリの里のハウス内で今年も種まきを行いました。マリーゴールド、サルビア、メランポジュームの3種類です。

配布予定の6月末まで、手分けして水やりなど行い成長を見守ります。

コミセン前の花壇では、伸びてきた雑草などの手入れをおこないユリの開花の準備を行いました。

### ◆フレイル予防体操

健康・福祉部会 6/7(水)



本年度1回目の元気づくり推進事業であるフレイル予防体操&サロンを、健康・福祉部会と春江北部ふくしの会が中心となり、27名の参加者を集め実施しました。

フレイル予防体操では、健康運動指導士の漆崎由美先生の元気いっぱいの指導のもと、みなさん熱心に取り組んでおられました。またサロンは、小川正二さんのサクソと娘さんのキーボードによる懐メロ演奏があり、フレイル予防体操でちょっと疲れた身体を癒されていました。